



にほんまつ

平成28年9月5日

No. 5

2学期が始まりました



2学期が始まりました。みんな楽しい夏休みが過ごせたようで、いろいろな思い出と、夏休みの宿題や作品を持って、元気に登校した子どもたち。夏休み中静かだった学校内にも、賑やかな子どもたちの声が響き渡り、活気が戻りました。

堂々と2学期のめあてを発表する2年生
8/27には早朝よりPTA親子作業へのご協力、ありがとうございました。草で緑色に見えていたトラック内が、みるみるきれいになりました。

2学期、運動会を始め山学習やマラソン大会など、保護者と地域の皆様のお力をお借りする行事が多々あります。2学期もよろしく願っています。

2年生の発表より

始業式で2年生が、1学期に習った漢字を使って自分の2学期のめあてをたてて、発表してくれました。



- 『思』…思いやりがたくさんの2学期にします。
- 『光』…光り輝く毎日の2学期にします。
- 『頭』…頭を使って宿題や授業ができるような2学期にします。
- 『聞』…大事なことを聞き落とさない2学期にします。
- 『元』…元気いっぱいの2学期にします。
- 『教』…困っている人にたくさん教えてあげられる2学期にします。
- 『読』…毎日大きな声（で発表する）2学期にします。
- 『図』…毎日図書館に行くぞ～の2学期にします。



生の
迫力ある演奏

名古屋大学
交響楽団
演奏会



今年から5月に行われていた下伊那教育会主催の音楽鑑賞教室がなくなりました。生の音楽に親しむとても良い機会だったので残念に思っていたところ、村のご配慮で鑑賞代を出してくださることになりました。8/25に名古屋大学交響楽団の約90名のお兄さんお姉さんが喬木村を訪れて、第一小学校の体育館でオーケストラの生演奏を聴かせてくれました。目の前で聴く生演奏の迫力に、子どもたちは大感動。何にも代えがたい良い機会となりました。第一小の皆さんとも楽しい時間を共有することができました。名古屋大学交響楽団の皆様、ありがとうございました。

「自分を伸ばす2学期にしよう」(2学期始業式校長講話)

H28.8.28(月)

楽しい夏休みもおわりました。楽しいことはいつでもあっという間に終わりますね。はい、それではここで少し皆さんの夏休みについて聞いてみたいと思います。

①ケガや病気などしなかった人。 ②夏休みの宿題しっかりとできた人。

③友だちと楽しく仲よく過ごせた人。④お手伝いをしっかりとできた人。

(ほとんど全員が①～④へ挙手)

はい、ありがとうございます。みんな充実した夏休みだったようですね。よかったですと思います。各クラスでさらに、振り返ってみてください。

それからこの夏休みは、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックがありました。ちょうど今、閉会式をやっていますよね。みなさんも、見ていましたか。校長先生も、つつい見いってしまいました。どの種目も、各国の代表選手が、懸命に闘っている姿には本当に感動させられました。日本も多くのメダルを取りました。長野県の選手も3人がメダルをとりましたね。メダリストの笑顔はとても輝いていました。先生がすごいと思ったのは、テニスの錦織選手や体操の内村選手や女子レスリングの登坂選手、伊調選手、土性選手、バトミントンのタカ・マツペア等多くの選手がギリギリまで追い込まれながらも、がんばって、ふんばって逆転してメダルをとったことです。最後まで決してあきらめず戦い抜いた姿に感動しました。勇気をもらいました。みなさんも、これから苦しいこともあると思いますが、最後までがんばってほしいと思います。テレビでは、どうしてもメダルを取った人ばかりが目立っていますが、メダルに関係なく、どの選手も全力でチャレンジしていました。自分の目標に向けて全力を出していました。金メダルをめざす選手もいれば、予選突破を目標にする人もいます。うれしい涙、悲しい涙といろいろありましたが、目標に向かって闘っている姿は誰もが美しかったと思います。そんな姿をたくさん見ることができ、このオリンピックから力をたくさんもらった気がします。

さて、いよいよ2学期がはじまります。はじめに見通しをもつために去年の2学期の様子を見てみましょう。

(去年の写真)…水泳自由参観、運動会、収穫祭 等2学期の行事を写真で紹介

どうでしたか。2学期のイメージがもてましたか。2学期もたくさん行事がありますね。

さあ、2学期の目標は決まっていますでしょうか。1学期にも話しましたが、「めあてをもつ」ということが大切です。オリンピックに出た選手たちもみんな、めあてをもって取り組んでいたと思います。そして、そのめあてに向かって努力を重ね、ぜひこの2学期を「自分を伸ばす」学期にしてほしいと思います。「自分を伸ばす」というのは、ちょうどロケットが1段目を切り離し、さらに上を目指して上がっていくイメージです。1学期につけた力をもとに、さらに力をつけていくということです。「自分を伸ばす」を簡単な言葉でいいかえると、「今までできなかったことをできるようにする」あるいは「できることをふやす」ということです。これは、勉強や運動の事だけではなく、例えばだれにでも大きな声であいさつできるようになるとか、相手のきもちを考えて行動できるようになるとか、そうじをだまって時間いっぱいやるとか生活にかかわる事などもあると思います。ということで、ぜひこの2学期を「自分を伸ばす」学期にしてほしいと思います。

学校からのお知らせ

学校では子どもたちと保護者の皆さんに
相談窓口を設けています

窓口担当

養護助教諭 宮澤 眞由美
福澤 都喜子

心と体
そらだんしつ

- ・人権問題
- ・ハラスメント
- ・人間関係
- ・いじめ、暴力



何でもお気軽にご相談
ください。

「非違行為防止・撲滅」へ向けた私たちの取り組み
ここ数年、教職員の関わる非違行為が後を絶ちません。
学校現場に働く私たち喬木第二小学校の職員も、不祥事や非違行為の報道を聞くたび、胸が痛みます。この職場からは絶対、非違行為は起こさない、という固い決意のもと、自らを律する研修を重ねています。また、校内の『非違行為防止委員会』に第三者としてPTA正副会長さんに入って頂き、ご意見を伺う機会をとるようにしました。
私たちはこれからも機会あるごとに研修を重ね、同僚性を高め合い、決して非違行為を起こさないよう心して行動します。ご意見などありましたらいつでもお知らせ下さい。